

「わたり」と「ずらし」



「わたり」と「ずらし」

同じ時間に複数の学年を対象にして異教材を指導するとき、直接指導と間接指導のバランスをとりながら、学習の成立を図ります。

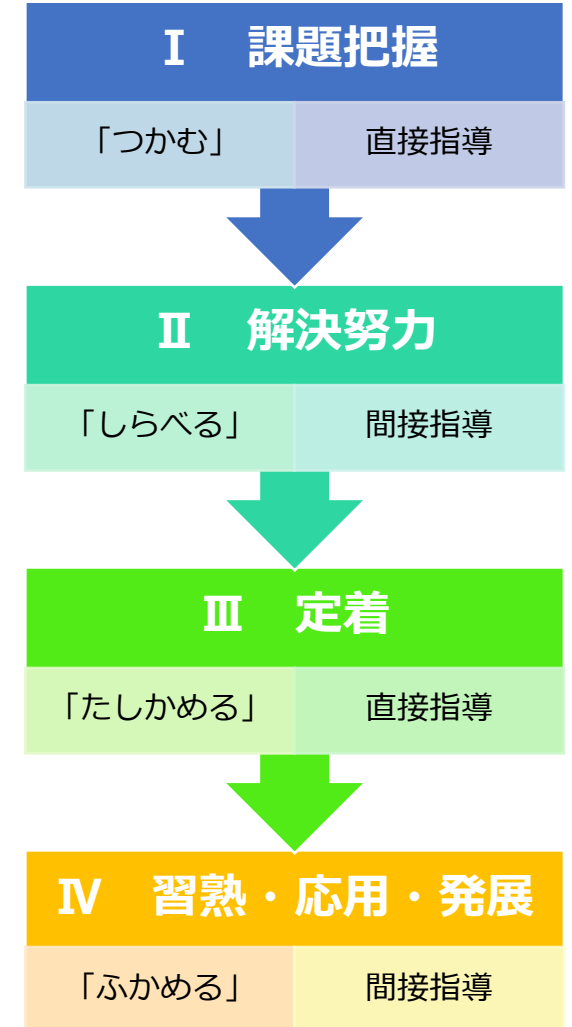
わたり

ある学年から他の学年へ交互に移動して直接指導をしていくこと。各学年の間を「わたり歩く」教師の動きが「**わたり**」である。

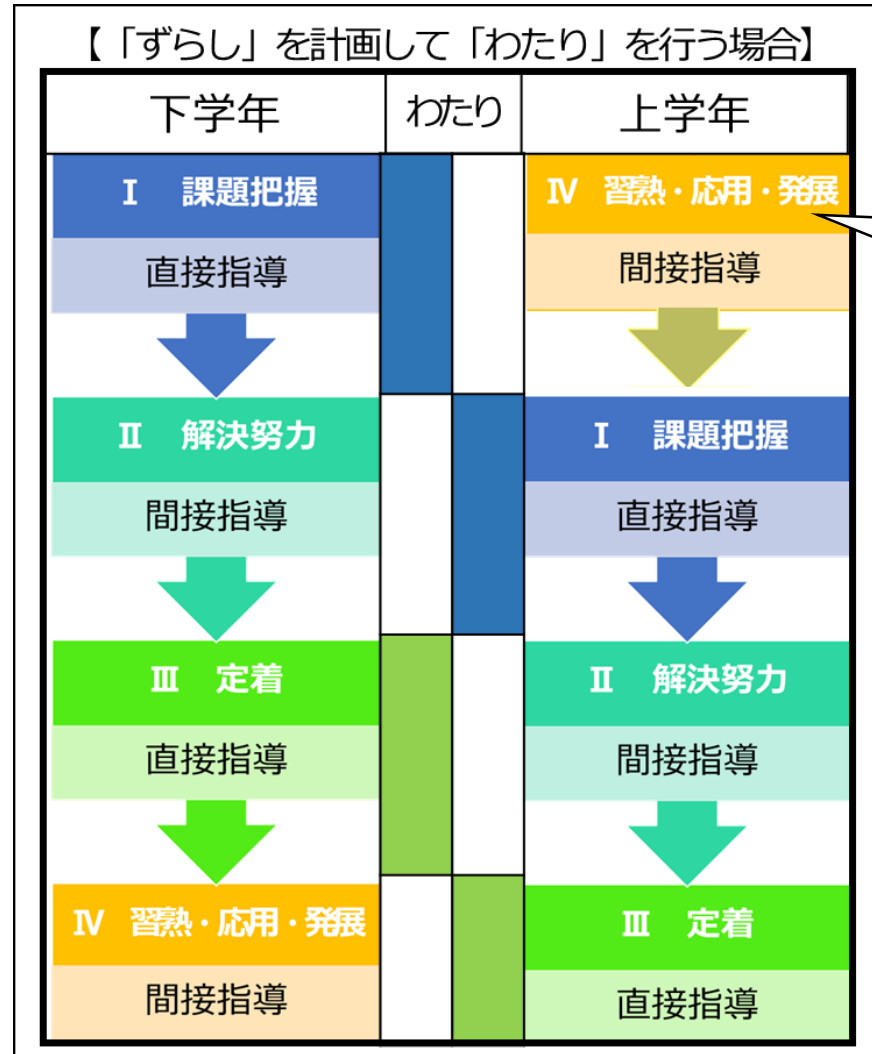
ずらし

効率よく「わたり」を行うためには、指導段階を学年別に「ずらした組合せ」、つまり「**ずらし**」が必要である。

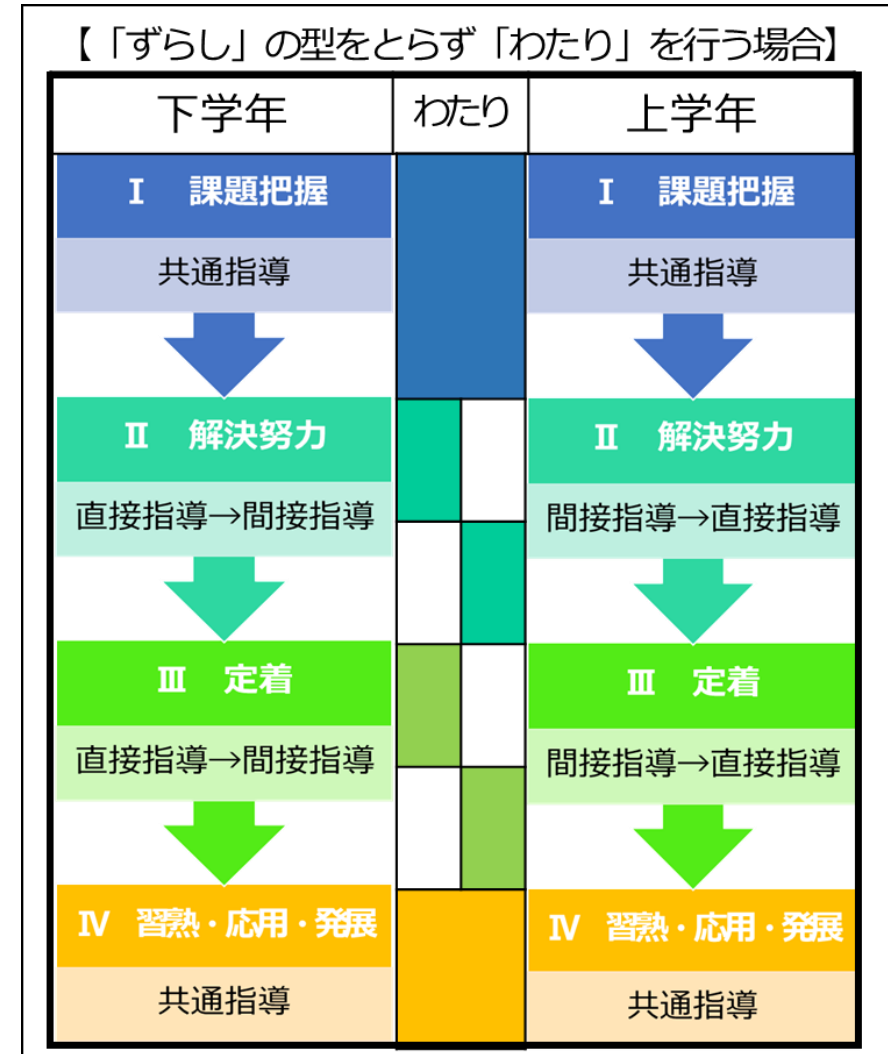
【4段階指導過程】



「わたり」と「ずらし」の例



前時のⅠ～Ⅲに続くⅣとなります。



※ ここに挙げたのは一例で、各教科の特質に合わせた形態が必要です。
また、各段階の時間も、内容や方法により一律ではありません。